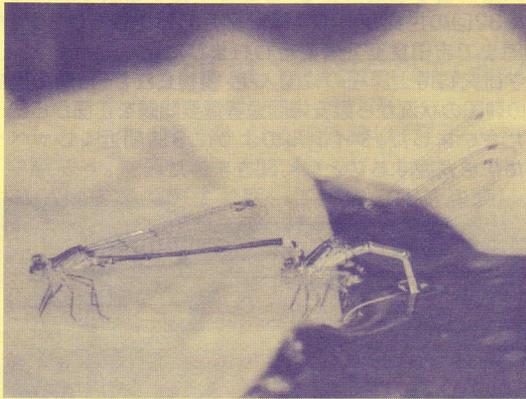


理学部附属 植物園のいきものたち

第4回



植物園で見られるイトトンボ類は3種、クロイトトンボ、キイトトンボ、モノサシトンボである。

クロイトトンボ(写真1: 連結産卵中のペア)は4月から見られるが盛夏には数がやや減少するようである。水槽や池の水面上を飛び回っていることが多く、水面から離れたところにはあまり現れない。成熟したオスは胸部に白い粉を吹く。腹部先端近くの青い紋が目立つので見間違えることはない。水面のスイレンの葉上に止まって産卵しているペアがよく見られる。キイトトンボは名前の通り黄色いイトトンボで太くて黄色い腹部が良く目立つ。5月下旬から出現する。メスはオスよりも淡色で緑色のタイプもある。水面上よりも水辺の草むらでよく見かける。植物園では池よりも水槽の周囲のほうが多いようである。

◀ 写真1

モノサシトンボ(写真2: ♀)は他のイトトンボよりかなり大きい。キイトトンボと同様5月下旬から出現する。細長い腹部の節ごとに淡色部がありこれをものさしの目盛りになぞらえて名づけられている。オスは淡色部が水色、メスは淡色部が黄色(未成熟個体は茶褐色)である。池の周囲の草むらに多い。水辺から離れた林内で見かけることもある。(撮影・解説: 樋上正美)

写真2 ▶

